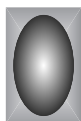


INFORMATION



第8回(平成20年度)財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞 候補者募集

1. 授賞対象分野

- (1)「材料」(2)「半導体及び半導体装置」(3)
「計測評価」(4)「バイオサイエンス・バイ
オテクノロジー」

2. 授賞対象者：詳細は下記請求先へお問い合わせ せ下さるか、ホームページをご覧 下さい。

- (1) 授賞対象は、論文の発表、特許の取得、方
法・技術の開発等を通じて、実用化につな
がる優れた創造的業績を上げている人(複
数人も可)とします。
- (2) 受賞候補者の国籍は問わず、日本国内にお
いて業績をあげた人を授賞対象とします。

(3) 過去に応募されたことのある人でも再応募
可能です。

3. 顕彰：各分野それぞれに賞状及び副賞(18金
メダル・賞金300万円)を贈呈します。

4. 募集期間：平成20年2月1日から4月末日
(必着)

5. 推薦書請求先、提出先：

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-6
財団法人 材料科学技術振興財団山崎貞一賞事
務局

TEL：03-3415-2200 FAX：03-3415-5987

E-mail：prize@mst.or.jp

URL：http://www.mst.or.jp/prize/



第3回トランスポーター研究会

日時：2008年6月7日—8日

会場：京都大学薬学部

代表世話人：竹谷 豊(徳島大学大学院ヘルスバ
イオサイエンス研究部臨床栄養学分
野)

事務局長：中川貴之(京都大・薬)

後援：(社)日本薬理学会, (社)日本薬学会

プログラム：

☆特別講演1 鍋島陽一先生(京都大学医学研
究科腫瘍生物学講座教授)

☆特別講演2 矢崎一史先生(京大大学生存圏
研究所森林園遺伝子統御分野教
授)

☆シンポジウム

☆口演並びにポスターによる一般演題

一般演題では、コンペティションによる優秀賞
等を選考します。詳細は当研究会のホームページ
(<http://www.jtra.jp/>)をご覧ください。

演題応募締切：2008年4月10日(木)

トランスポーターに限らず、物質輸送を担う膜
分子またはその複合体に関する一般演題を広く募
集します。

参加費：学生(院生含む)3,000円、一般5,000
円、幹事・世話人6,000円(懇親会費を
含む、当日受付は各2,000円増となります)

参加申込：事前参加の締切は、5月12日(月)で
す。

振込先や参加登録の詳細は、当研究会のホームページ (<http://www.jtra.jp/>) をご覧下さい。

問い合わせ先：

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46-29

京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学分野

内

第3回トランスポーター研究会事務局長

中川貴之

jtra3@pharm.kyoto-u.ac.jp

Tel : 075-753-4549, Fax : 075-753-4542

<http://www.jtra.jp/>



うま味研究会主催

日本化学会・日本農芸化学会共催

「うま味発見 100 周年記念公開シンポジウム」

日 時：2008 年 4 月 24 日（木）9：30～17：15

場 所：東京大学 本郷キャンパス大講堂（安田講堂）東京都文京区本郷 7-3-1

事前参加登録：必要（下記参照）

1908 年（明治 41 年）東京帝国大学教授の池田菊苗博士が、湯豆腐のだし用昆布のうま味の正体がグルタミン酸であることをつきとめました。博士はうま味調味料グルタミン酸ナトリウムの製造特許を獲得し、この発見と発明で「日本十大発明家」の一人に数えられています。

この池田博士による、グルタミン酸を調味料として特許を出願した日（1908 年 4 月 24 日）の 100 年目にあたる日に特別記念シンポジウムを開催いたします。

【プログラム】

1. 基調講演：池田菊苗の想い
芝 哲夫（大阪大学名誉教授，（財）蛋白質研究奨励会ペプチド研究所）
2. うま味の基本的特性とおいしさへの寄与
山口 静子（東京農業大学）
3. 核酸系化合物のうま味の発見とその後の展開
国中 明（千葉科学大学）
4. うま味の神経科学的研究—過去から未来へ—
山本 隆（大阪大学名誉教授，畿央大学）

5. うま味の受容メカニズム—研究の流れと課題—
杉本久美子（東京医科歯科大学）

6. 味覚および内臓感覚におけるうま味シグナリングの有用性

鳥居 邦夫（味の素（株）ライフサイエンス研究所）

7. 食調節機能異常としてのメタボリックシンドローム

坂田 利家（大分医科大学名誉教授，中村学園大学）

8. 農芸化学と味覚研究

阿部 啓子（東京大学大学院）

参加費：1,000 円（当日受付にて申し受けます）

申し込み要領：うま味研究会ホームページ <http://www.srut.org> からお申し込みください。Fax/葉書でお申し込みの場合は氏名，所属，住所，電話番号，Fax 番号を明記のうえ，下記宛にお送りください。定員に達し次第締め切らせて頂きます。

連絡先：うま味研究会 事務局

〒104-8315 東京都中央区京橋 1-15-1

TEL : 03-5250-8184 FAX : 03-5250-8403

E-mail : umami@srut.org



大阪大学大学院生命機能研究科入試説明会/

グローバル COE プログラム

「高次生命機能システムのダイナミクス」シンポジウム (同時開催)

日 程：平成 20 年 4 月 26 日(土)10：00～17：00

会 場：秋葉原コンベンションホール

(〒101-0021 東京都千代田区外神田
1-18-13/JR 秋葉原駅徒歩 1 分)

【入試説明会】 10：00～12：00

生命機能研究科

入試説明/研究科カリキュラム紹介/

ポスター会場にて各講座による研究室紹介

【シンポジウム】 13：00～17：00

グローバル COE プログラム「高次生命機能システムのダイナミクス」シンポジウム—高次生命機能の解明とその展開—

「1 分子ナノイメージング—ゆらぎと生命機能—」

柳田敏雄 (ナノ生体科学講座 教授)

「生体超分子ナノマシン細菌べん毛の自己構築

と動作のしくみ」

難波啓一 (ナノ生体科学講座 教授)

「生きている細胞でタンパク質の動的平衡を可視化する」

平岡 泰 (細胞ネットワーク講座 教授)

「発生もおもしろい！」

濱田博司 (個体機能学講座 教授)

「生体ナノチューブ嗅覚繊毛香り情報変換の実時間物理化学」

倉橋 隆 (生体ダイナミクス講座 教授)

申込み・参加費：不要

連絡先：大阪大学大学院生命機能研究科 COE
企画室

TEL：06-6879-4645

E-mail：coe-info@fbs.osaka-u.ac.jp

詳 細：http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/



7th International Head-Out Water Immersion Symposium

From Bathing to Space and Daily Living

University of Tartu (Estonia), May 17-18, 2008.

Saturday, May 17

9.00-13.00 **Opening ceremony and plenary lectures**, Assembly hall of the main building of the University of Tartu

13.00-14.00 Lunch

14.00-17.00 Scientific sessions, Biomedicum

19.00-... Reception

Sunday, May 18

9.00-13.00 Scientific sessions, Biomedicum

13.00-14.00 Lunch

14.00-17.00 Scientific sessions, Biomedicum

http://www.howi-symposium.net/index.html